

5月14日(日) 第二礼拝 「逆転の恵み」士師記 11章 1-11節

エフタの人生を通して、私たちは逆転の恵みについて見ることができます。

第一番目に、エフタについてです。エフタはマナセ族のギルアデと遊女の子でした。エフタは、正妻の子ども達(腹違いの兄弟)から差別され、いじめられ、家から追い出されました。更に、町の長老達も彼を憎んで、彼の父の家から追い出しました。そのため、イスラエルに住むことができず、トブという外国の地に住むことになりました。そんな彼の所にごろつきが集まってきました。ごろつきとはアナシュレキムと言い、空っぽの人、貧しい人、人生の目的と方向性がなく、ただ無意味に生きる人の事です。エフタは、ごろつきと共にイスラエルを攻撃する者達と戦って生きる山賊となりました。彼は辛い人生を歩んでいたのです。

第二番目に、エフタに逆転の恵みが訪れました。士師記 1:1「ギルアデ人エフタは勇士であった」とあります。主が彼を勇士だと言われたことで、エフタは自分のアイデンティティを知ったのです。士師記 6:12には、主の使いがギデオンの「勇士よ、主があなたといっしょにおられる」と言ったとあります。ミデヤン人から逃れて酒ぶねの中で小麦を打っていた臆病なギデオンに、主の使いを通して、「勇士よ」と言われました。勇士とは、「神様が共におられることを信じる人」、つまり、「私は弱いけれど、神様は強い」と信じる人の事です。どこにいても、誰と出会っても、どんな苦しみ状況であっても、神様は私と共におられるという信仰(インマヌエル信仰)を持つ人の事です。士師記 11:6-8 アモン人がギルアデを攻撃した時、ギルアデの長老たちはエフタを訪ね、彼らの首領(指導者)になるよう願います。最初その申し出を拒んだエフタも、最後は承諾し、ついには国を救う最高の指導者となりました。逆転の人生となったのです。また、イエス様の公生涯からも逆転の恵みを見ることができます。イエス様は地上に人間となって来られ、十字架につけられ、墓に葬られ、そして三日目に甦りました。その事を信じる者達に、主は聖霊を与えてくださいます。イエス様が十字架で勝利してくださったので、主が私たちに内住して下さり、いつも主と共にいてくださるのです。絶望だった事が、逆転し勝利となりました。神様は逆転の神様なのです。

第三番目に、神様がエフタを用いた理由です。士師記 11:11「エフタは自分が言ったことをみな、ミツパで主の前に告げた。」エフタは、自分の人生で受けてきた様々な傷や、ギルアデの長老達に彼の指導者になるように言われた事など、全てを神様に報告しました。主の御前で、静かに主を仰ぎ見て、主を待ち望む、その祈りがエフタの人生の随所にありました。苦しい状況で、彼は神様に近づいたのです。それが主から用いられる理由となりました。彼は自分の家族、同族を全て赦し、善をもって悪に打ち勝ちました。士師記 11:9 エフタは、勝利の根源は主だと告白しています。戦いの勝利も主であり、民のかしらとなることも、全ては主の御手にあることだという告白です。苦しい状況でも、主を認め、主を見続け、全てを主に告白し、信頼して委ねていく時に、私たちもまたエフタのように逆転の人生へと導かれるのです。アーメン！